本 瓜

IJ

毛

遙

= ガ

劣 日

イ 本

水 IJ

利

1

3

ナ

Ш テ

地 平

> 二 地

ハ ハ

|チ 殆

1

力

ポ

ッ ッ

1

%ر

ラ

J,

12 陵

規那

ナ 水

١, 田

ガ

仕 ナ

立. ッ

テ テ

ラ 居

處

哇 \exists

Y

口

3

Æ

稠

 \mathcal{T}

ッ

Ŀ

田

畑

二

ナ

テ

仕

舞

Ŀ

丘

デ

Æ

田

毎

式

N

處

ガ

日

高山 「植物ト

來 ダ んげ 短 モ " 且 ハ サ 莖 ば ッ 細 1 h テ 基 力 = 部 ナ Cladonia けん大サ 分枝シ其先ニ黑色細微 ハ n 屬 ----= 中 3 囘 Clathrina 前 原 君 ヲ ナ 子 超 弫 III. 器 工 屬 後 ヲ ナ , 着 イ Æ 0 ケ ガ ゖ 有 デ テ Ż 子器 其莖 居 1 枝 岳 軸 孔 於 太サニー ガ テ 有 7 n 1 ボ 特 Æ 徴 デ ヲ ア 採 n 集 = サ 普通 及 E. タ 枝 = 7 デ 1 7 先 N r 端 無 n 子 ガ 器 元

哇 植 物 ŀ 植

郡 寬

以 ナ 所 調 ナ 耕 3 モ 杳 ヌ 作 Ŀ ク ガ シ ワ ッ ナ デ テ 處 ガ゛ 泉 Ì テ 居 Ш Æ n ハ ダ ハ 顯花 瓦 千 高 n カ ケ 來 ソ 米 ヵ イ モ = N 1 見 處 植 テ 1 以 物 ボ ヂ ラ デ Ŀ 瓜 7 個 ナ Ţ Ŧī. ャ V 哇 百 ダ n jν 山 jν ン 七 森 動 ŀ ス デ 十 高 紀 林 林 例 ソ モ 念 叉 山 相 Ŧ. 丸 V 種 坊 ガ ハ 等 皆 其 ゲ 低 再 五. 主 ハ 內 デ 若 Ŀ" 地 內 樹 七 固 耕 簡 \bigcirc ì イ 兀 火 單 木 米 Ш 有 地 七 前 腹 Щ 幼 百 六 個 ダ 稚 年 後 セ + チ ラ 力 噴 ラ ナ 五. ナ ボ 林 レ 百 IJ 火 F. 1 ト|||ク 年 旣 此 r 氣 デ ダ 灌 サ 來 iv 候 木 其 樹 ス リル 紀 上 疃 草 種 無 1 ŀ 標 方 念 デ 瓜 本 Ш 火 = ク 富 保 ナ 哇 高 ヲ ハ 存 南 記 = 百 傷 3 IJ ŀ 原 千 錄 五. × 且 林 ハ 二 主 進 ラ 始 米 ッ 眀 ナ 蔓 林 位 乃 藤 生 膫 タ 兀 迄 至 iv テ 只 開 思 本 ガ ナ 火 \bigcirc 其 度 Æ Ш ٤ 生 0 高 墾 7 植 切 デ 米 , ガ Щ サ 間 \equiv 種 及 IJ モ 物 以 V 十 F, 能 7 デ 山 テ KOORDERS 居 現 滿 n 腹 東 ク 座 發 在 西 サ 7 n $\widehat{3}$ 7 達 タ 米 不 活 V グ y 以 規 動 シ タ 暖 其 氏 ヌ 旺 ン Ŀ 則 中 イ 未 1 內 植 盛 ŀ 羅 ダ = 生 九 ゥ デ Æ ナ 此 列 ハ ガ 降 n デ 見 四 Щ 手 邊 雨 迄 其 ラ 年 林 腹 他米 ヲ Æ

ャ

斯

ナ

F,

=

活

ヲ

テ

n

 $\widehat{5}$

ヲ

₹⁄

テ

ハ

ノゾ

ン

F.

ン

キ

U

jν

デ

ア

n

頂

n

所

百

大

體

付

イ

タ

形

デ

7

w

ラ

ズ

開

花結實ガ季節ヲ

追

/テ年

囘

デ

7

jν

ガ

兄

其

ガ

年

中

枝

力

ラ枝ト

一交代シ

テ

居

瓜

哇

酢

木

此

Щ =

> 拘 モ

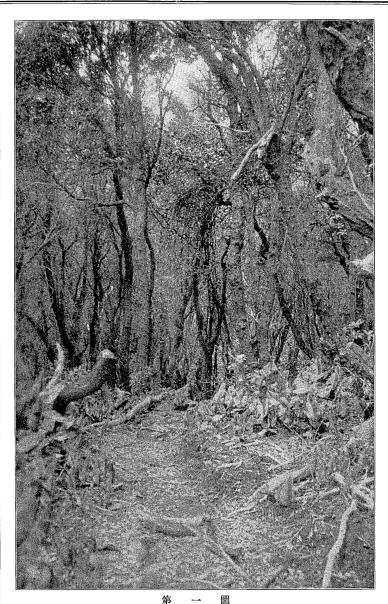
Щ 脈 ヲ ナ サ ズ 個 Ħ 聳 立 **≥**⁄ テ 居 w

原 疎 在 ス 瓜 始 ŋ 林 n n 哇 其 林 + ŀ ハ 上 ナ IJ ソ 雨 , ij ~ ガ V 千 地 登 デ 多 ン 百 衣 ヂ イ n 帶 米 體 = ャ 從 ガ ナ 尤 U 雪 樹 ラ ヒ モ 線 林 雨 バ 低 迄 昇 植 地 界 達 增 生 殊 3 限 加 0 1 二 島 テ 米 發 シ 居 其 達 テ 1 樹 東 上 ガ N ヲ 9 ハ 林 例 山 半 灌 モ 頂 = 木 密 汔 ŀ ハ 此 草 = 旺 乾 w 本 盛 燥 Щ ナ ŀ 帶 IJ 此 デ 期 ハ 第 7 デ デ ハ 雲少 7 n ハ 期 低 八 べ n 百 地 # 時 ク ガ 代 雨 75 筈 高 ハ 至 禾 デ 二 Æ 山 出 三千 本 ァ ハ 皆 米 n 來 , 乾 雲 以 米 上 燥草 內 ッ ヲ 處 比 起 タ = 古 減 原 較 ハ シ 1 雨 イ ズ 雨 爲 量 千 n ヲ 火 Ш ガ 车 百 メ 膟 四 ア デ \equiv 米 > 千 米 以 デ 7 フ w 五. = Ŀ y 眛 力 百 Æ カ = ハ ラ 米 達 果 東 植 迄 樹 ス 側 溭 帶 黰 園 N 南 度 雲 花 式 緯 = 推 植 霧 Æ 帶 乾 移 物 度 飽 Æ ガ 燥 = 和

地 所 山 積 ガ ヲ 同 Casualina 占 ジ 有 ク 熱帶 シ ラ 居 デ 森 7 jν 林 ŋ コ ナ ナ ŀ ŀ, モ ガ ラ 炒 ソ ク 瓜 ゥ ナ 哇 デ イ 1 r山 n 例 N = バ ハ タ Ш 頂 ン 附 ク バ 近 ン 1 ブ 植 ラ 生 フ ガ 頗 1 jν 逆 幼 舟 稚 山 デ 種 意 類 モ 1 小 ŋ Vaccinium 只 種 叢 植 物 林 ダ テ ケ ン デ ガ 廣 1 1

上 米 謂 遊 varingiifolium 舟 IJ モ = 噴 叉 雛 長 Щ 火 青 徑 \Box 實ヲ 西 タ 植 處 物 瓜 .⊲ デ # 哇 M_{1Q} . 筆 タ ハ U 枝 瓜 高 頭 半 サ デ ヤ 哇 É 生一葉が大七半 黑 ア 1 實 ッ ヲ 火 市 テ 玆 П ŀ 枝 = ガ 北 假 ナ 直 8 瓜 7 + 稱 ١, 斡 哇 IJ 五. ス) 樹 酢 今 ガ 此 雜 ダ 形 デ Ш 多 ケ ヲ デ 木 モ ナ 亞 = ガ ŀ 出 月 シ 火 假 硫 = 稱 酸在 テ 第 居 着 ス 內 n ク jν 匂 圖 \bigcirc 緣 ガ 叉面 迄入 日 ダ 八 其林下 ス 本 四 ケ N 込 1 白 デ 米 • 3 7 し イ = 事. 其 活 ゃ N 口 處 = 火 ひとつばニ似 ノ 瓜 デ Щ Þ ハ 周 生酢 瓜哇酢 ハ二米 圍 んばゃう 最 一デ見 木 近 木 位 ハ ラ Ĵ 亞 噴 テ 枝 灌 硫 0 火 稍 n Ĕ 酸 = 木 植 々 デ 급 Y 大 物 九二六 常 酸 ŋ 7 今 キ 綠 性 n 殆 イ 開 土 ガ 羊 F. 花 壤 葉 火 车 鹵 Vaccinium デ **≥**⁄ \Box Pleopeltis テ 力 堪 如 ラ 一 何 jν

哇 高山: 植物ト



タンクバンプラフー火山ノ Vaccinium varingiifolium Miq. ノ叢林

モ邊但ルクガ植他クニガ居シ分邊〇七方ハノノ此、ナ多物ノ程行下ルテ布迄米〇一下

現在

噴烟

シ

テ

居ルブロモ火山

(二三九〇米)

ノ名デ通

ツァテ居

sessilifolia(はひのき屬) デアル、又草ニハすゞめのかたびら、ぎゃうぎしば、ちどめぐさ、くろがや.羊歯門ニ theria fragantissima et leucocarpa(あかもの屬)等ノ灌木デアル、 rugosa(ふかのき屬)、 デ只 Embelia coriacea(おんせうもどき屬)ガ瓜哇酢木ニ生ヒカヽッテ居ルダケデア Histiopteris incisa(ゆのみしだね屬)及ビひかげのかづらガアリ後者ハ火口ノ内壁迄 ン F 濠洲 ナド Litsea citrata (はまびは屬)、Elaeocarpus acronodia 等ノ樹木 Melastoma setigerum (のぼたん屬)、 ` 共通ナ屬 ノモ ノデア jν 其主ナ æ ノハ 此等ハ瓜哇其他 Eugenia striata (ふともも屬)、 Rubus elongata (いちご屬)、 (ほるとのき屬)、 ノ高山ニモ見ラレルモノ ハ前記ノ瓜哇一葉ノ 進ンデ居ル、 Symplocos ハ外

來私 上附近ハ極 更ニ下ルト熱帶樹種ガ殖エ森林モ密、灌木草本藤本共ニ豐富ニナリ降雨林式ニナルハ言フ迄 次ニテン ナ ゙リ火 想定 ハ其デー度登リ又其前ニ飛行機デモ一度火口ヲ一周鳥瞰シタ、飛行機デ見ルト ナドノ木生羊齒ガ丁度ちゃうちんごけデモ立並ンデ居ル様ニ見エルノガー興デアル、 口 セ ガ 原 ジ跡 1 メテ單調デアル、ソシテ其植物ガ大抵我邦ノト共通屬デアルコトモ V 山 テ居ルガ其後 ハ 長徑七 ハ東瓜哇 能 ク生 「キロ」ノ砂 スラバヤノ南二十餘里ノ處 出スサウデアル 噴火ニョリ破壊セ 原 ŀ ブ ロモ $\widehat{4}$ ラレ レ今デハ こ在 ŀ ック jν 其他 直徑十 火山 デ 有史前 孫 キロ 火 山 こっい高 ŀ ノ外 ヲ 有ス 面白イ、此山ハ最近自動車道 輪 サ四 ル異 Щ 山腹ニ在ル Alsophila, Dick-ガ最高 千米ニモ達 形 ブ山 (約二 此等木生羊歯ハ山 モナイガ ニナリ シタ蛋 七〇〇米) (1) 其名 兎 大 ナ火 = ガ出 角 = Ш 頂

カッ ンガ 1 タここ 領 Щ 域 均 內 ì 北腹ニハ Ŧĩ. やし ・九度デ然カモ 思 ガ ナク **١**- | ンレ サ ヌ程 リー ナリ次デ砂 ノ淸凉郷デア (一八〇〇米) 季節的 砂糖椰子 變 化 ッ ガ ガ テ温 消工最後ニばななガナク ナク大體東京京都 ト云フ有名ナ避暑療養地 帶 ノ花卉蔬菜果樹 五月初旬 に栽培 ナ ガ y 頃 7 Щ n セ ラ 氣候ニ當リ、 路 迂廻 麓 ・テ居 カ ラ登 **≥** ・テ此町 w jν = 暑 從 達ス つを寒 ٤ 先ッ n 路 1 此處

瓜哇ノ高山植物ト植物



第 二 圖

テンガー山腹ブロモ登山路ノ木麻黃林 (Casualina Junghuhniana Miq.)

タ氣 Miq. = C.ラ チ ス 居 此 丈 デ ラ ボ n 周 + 朝 所 知 IJ 地 町 ヲ ガ 候 期 ガ 1 次 森林 ア 出 顏 始 ラ 內、 混 伸 ラ 第 1 ダ ヲ 否 ガ ス テ居 Ш ジ 育 佐 Ľ" ス ナ サ 高 Junghuhniana Miq. 得 櫻 山 非常 1 此 枯 テ ク ゥ テ Ш Studio 米附 處 地 差 植 居 ズ ハ 寒 デ 植 相 F 物 植 イ = ガ 物 イ ア = ッ ŀ æ 當 近 帶 ヂ゚ r N 早 能 同 分 ハ 物 モ コ ッ 力 ケ H 園 w 習 ŀ ク テ ク 氏 ŀ ケ 日 ラ木 先 育 本 是 伸 登 テ Æ 性 モ 力 云 'n 灌 ラ 談 1 ナ v = Ŀ" ッ 木狀 麻 蕾 植 全體 ŀ テ 四 イ ŀ 如 ハ ヌ デ テ 黄 サ 居 恐ラ 物 思 何 ガ ガ ガ 歐 精 ハ 充分 出 瓜 y ッ ガ 0 = ガ 六 H 米 15 (Casualina 尺 種 米 1 [ナ ク 來、 枯 哇 タ V 3 本 各 ナ ガ Þ 暑 氣 位 Щ IJ ガ IJ 死 寫 n 力 地 町 且 植 斯 地生木麻黄) 屯 ク 候 小 ラ 眞 シ = 矢張 ッ花葉芽様 B 樣 訪 力 ヱ 餘 E サ ナ 桃 Ŧ タ 談 勢デ ラ ラ ナ氣候 ナ イ ッ 峀 間 濹 デ ラ 花 montana 耕 n V 叉 タ ヲ 者 Щ 後 地 h ナ 日 テ = 撮 居 先 ヲ ナ ŀ 本 植 迄 w イ 李 力 ッ 瓜 種端 能 過 ١,٣ IJ 似 適 節 IJ ガ 力 **≥**⁄ テ 哇

ニハ前記ノ瓜哇一葉ガアル

vulgaris L.) デアル其他 Hypericum Leschenaultii (をとぎりさう屬)、 テ居ル、着生植物ニハ き、わらびナドモ見ラレ温帶氣分ガ復活スル、又やどりぎ科ノ Scurrula ガ大キナ株ヲナシテ木麻黄ニ寄生シ で)、なちしだ、叉谷合ニハ Urtica grandidentata(いらくさ屬)ガアル、叉すゞめのかたびら、 單 調 ナ森ニナ (第二圖) Peperomia reflexa(すなごせう屬)其他一二せきこくノ種類ガアル 稀ニはうちはのきノ有毛種モ混生スル、 路傍ノ下草 Polygonum eaespitosum ハ大部分ハよもぎ いぬほほづ (ねばりた

longifolium (灌木生ははこぐさ)、Elscholtzia pubescens (なぎなたかうじゅ屬)、禾本ニハ Avena Junghuhnia 木麻黄ハ峠ノ上迄生エテ居ルガ次第ニ疎生シ其間ニ灌木草本ガ多クナル、 たいわんふぢうつぎ、 Gnaphalium

ちどめぐさ、Wahlenbergia marginata (ひなぎきゃう屬)、たいわんいぬどくさナドガ順々ニアラハレ、 Rothina(たかとうだい屬)ナドモアル、更ニ登ルト Pimpinella javana (だけぜり屬)、Plectranthus javana montana(ねむのき屬)、Sonchus javanicus(はちぢゃうな屬)、Anaphalis viscida(やまははこ屬ノ灌木)、 やまはくか屬)、Cynoglossum javanicum (おほるりさう屬)、Dichrocephala sp. (ぶくりゃうさい屬)、Albizzia 其間ニ混ジテ Thalictrum javanicum (からまつさう屬)、Rubus niveus (いちご屬)、Euphorbia

峠ノ上カラハ火口原ノ廣 黄、山ねむのき、瓜哇酢木、灌木生やまははこナドガ疎生シテ居ル(第三圖) ぎゃうぎしば、Valeriana Hardwickii (かのこさう屬)、Astilbe indica 外輪山ノ鞍部ムンガル峠(二四〇〇米)邊ニナルト Imperata cylindrica (ちがや屬ニテあらんあらんト稱 イ砂地ガ見エ、 其右ニハバト ック、ブロモ、 ウィドダ (ちだけさし屬) ーレン、遠ク距 ナドノ間ニ前記木麻 チ ララワ

ン及ビ瓜哇第一ノ高峯スメルーモ見エテ雄大ナ景色デアル (第四圖)、火口内ハ雨ガ少ク且ツ降ッテモ直グ浸込 カラ大部分ハ裸地デ砂ハ波立ッテ居リ Sandsea (方言「ダサー」)ト呼バレテ居ル、只降雨ノ際流水スル邊ニ禾

小 灌

噴 木

7

火

Щ

是

V

火 ガ

3

IJ

降

灰 17

叉 モ

礫

ヲ

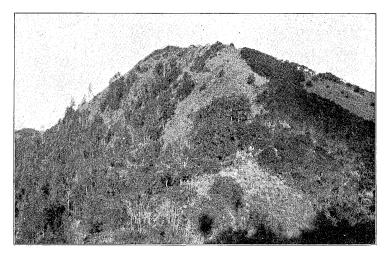
來

シ

其

毎

二 年



テンガー外輸山ムンガル峠ヨリ東方高地プナンジャアンヲ望ム

セ好ニ 本 が む北 デ 側 h 海 0 É Ŕ フ 3 南 \mathcal{U} ガ デ 植 烟 Ż 殊 ナ 瓜 テ ガ ソ 飛散 ツク ばす 疎 禾 哇 灌 ヲ ヲ テ ガ 木受 北 本 發 屬 目 消大 ガ 生 感 然 山 げ 立 科 ガ わ 木 生 ケ 側 達 ス **≥**⁄ 長 B 禾本 P 力 1 jν テ ヌ ガ チ ガ シ Polygonum chinense Щ 居 まは 方 \mathcal{F} 割合 テ タ Festuca nubigena 我邦 デ ブ y 見 面 n ガ すげ、 ブ 現今 I. ソ 更 ダ は V 絕 U ナ Ħ めみちやなぎガ ケ ェ = 滯 禾 ソ モ峯自身 デ ナ ズ 其間ニちがや、 イ 木麻黄ナド 本 旣 ア ١, ブ 方 水 デ ガ 植 地 п ア 生 ア Ŧ 七 ハよもだ 7 叉 ガ n 年 降 Щ 噴 w ナ ガ w 間 ガ 南 外 噴烟 麓 烟 $\overline{2}$ Æ シ Æ 生 たどり 側 ぎガ密 ねずみのを、 噴 ŏ ハ 一ジテ居 ラ受ケ ガ 却 主 木 = けぐ 火 多 叉砂 テ植 在 ヺ 麻 フ 1 イ 山 ヲ テ 生 休度 テ 小生 居 植 テ 丘 3 テ シ Ŀ 只 居 形 山ル テ デ ガ ŀ 扂 上 爲 良方禾ね n 0

テ

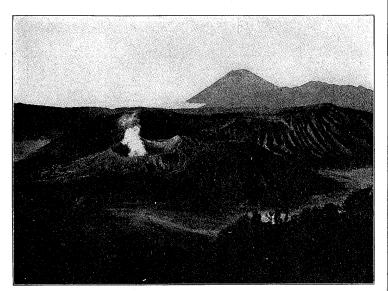
面

白

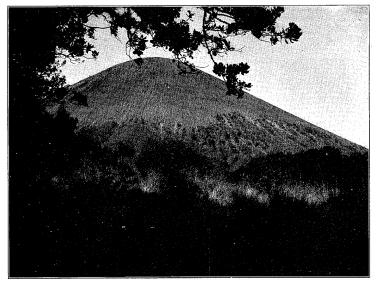
ク

セ

ラ



第 四 圖 テンガー山ノ外輸山高地プナンジャアンヨリ南方ヲ望ム



第 五 圖 スメルー山=於ケル木麻黄林ノ上限

火此

ガ

年

デ

7

n ス

ガ メ

高

爲

植

物

帶

布

ガ 最

層

單噴

ッ 才 1

ァ

Щ

力

ラ

見

工

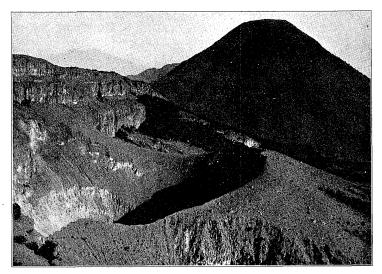
n

前

記

n





第 六 ゲデー噴火口東側ヨリ西北西ニ姉妹峰パンゲランゴーヲ望ム

年九パ 瓜 寒 育 此 ヲ 上 處 五純 イ 帶 邊 高 圖 廣 哇 ガ ハ 位 ン シ 得 米 直 サ 經 = ハ サ ナ 迄)、 旣 百 ラ 離 ィ グ 高 過 高 ソ 3 = 堂 島 植 準 火 Ŧi. ン = 不 シ Ш レ N 佐 寒帯 + J" 物 Ш 明 タ デ ヲ ŀ 冷帶 ジテ熱帯 = 卽 竹氏 森 浮 さる 考 礫 ナ は 米 姉 1 Æ チ モ 妹拳 內外 林 力 少 デ 1 jν 三五〇 且 談 裸地 ラ を ŀ Æ 番 ク ガ シ 見 其 海 約 が 高 デ ヌ ッ 六〇 雲霧帯ヲ 樣 未 せ ござさ及ビす 做 jν ガ デ ク JUNGHUHN (第六圖 面 ŏ 其 七 来 他 登 ガ バ サ ナ コッ六 米) 狀況 禾本 以 来 間 斯 サ 1 高 上 未 \bigcirc ガ テ テ デ 草 居 迄 超 米 居 デ ナ Щ ダ ッ 及 Ŧi. 越 處 地 休 7 能 7 カ N IJ テ 〇米迄 F, 草 氏 デ ÚŤ ラ 居 モ ŀ 火 w ク n **≥**⁄ 寒帶 後 發 言 移 テ 屬 頂 ハ IJ , **≥**⁄ 嘗 先驅 居 木 是 來 テ 上 炒 達 ガ 樹 殘 ŀ テ 木 草 中 ゔ゙ ŋ 10 ス N シ 本まご ゲ 力 **୬**⁄ 瓜 矮 林 麻 IJ 央 Ŧ N ァ 溫 シ ダ 機 其 デ 哇 形 最 黄 ラ テ ガ 處 百 會 之 居 噴 1 高 領 デ = 火 域 = 植 ナ 限 モ N 生 第 少 生 IJ П 五 モ

ッ

ノデモ

遠ク迄

ハ歐洲

こノ例デ

アル

ガ瑞西ノ山

中へ

一弗利

加北岸少ク ソ シ

ŀ

ロ」ノ處 度斯様ナ 瓜哇

カラ鹽 /重サノ

ŀ ヲ

ガ 吹キ

送ラ

レ所謂鹽雹 運ブ、是

ラ降ラ

也

其大キ

ナモ

七六瓦モ 亞

r

ッ

Þ

= ŀ

ガアル

百年ニ

ハ分布ヲ

N

=

ガ

多

デ

ア

 $\widehat{\underbrace{6}}$

叉 JungHUNH 氏ノ實見

Ħ

高

山

北西季節風

ガ强

ク叉二千米以上ノ高層

ハ南東風

ガ年中吹テ居ル、

テ風

٠,

强イノニ モニ百五十「キ

ナル

ŀ

可ナ

゚゙リナ

尙 ね ナ 舳 dendron 二種、 之ニ對シ最近一八八七年ニ 木外同屬二種 ・シ樹枝 のき、 テ居ル ずもどき、 ホ此邊ニ ル櫻草(Primula imperialis)ハゲデーニハナク反對ニ Albizzia montana ハ前者ニ ガア ハ裸地ヲ好 間近ナ山 ŀ 類 Eurya, Nepenthes, Rapanea, Pleopeltis, 鳥 8 あか 八皆着生蘇 は ハうつぼかづらノ一種モアリ又すのき、 其カラ山 運 は ઢ Gaultheria 二種、 ŏ, ハムモ デ ひのき、 モ 分布 類ニ やまもも、 Þ ノデアルガ未ダ 他 ノ外斜面ニナルト瓜哇酢木ノ外ニおほのぼたんのき、 ねずもどき、 被ハレ其下草ニハ櫻草、 ほるとのき、 ノデアル、 噴火 地 一様デナイノモアルガ然シ前記植物ノ多 衣 類 ひさかきナド **≥**⁄ Ficus diversifolia, Anaphalis, Myrica, Albizzia, Symplocos 门種、 タゲデーハ火口 ガ **禾本、** 移來スル機會ヲ得ナイノデアル やまもも、 7 ひさかき諸屬ノ樹種、 n ガ 其 角圍 ガ鳥デ運 石南、蘭等子實ノ微小ナモノ かなめもち、 Lycopodium 蓼、苺、みづ、うはばみさう、毛莨諸屬 ハ岩石其マヽノ裸地デ其上斜下 石南ノ類ハ森ノ中デハ着生植物ニナリ根本ニ ハ 外 レルノモ明デアル、 面 カラ次第 かし二三種、 ふかのき諸屬 ガアル、 'n ハ瓜哇ノ 尙ホ面白イコ なぎ一種ナドガ次第 ガ ガ風デ飛散 たいみんたちばな、 モノガアリ高サ五米位 押寄 蘭領印度地方ハ十一月カラ四月迄 高 面 山一般ニョ セ 、Vaccinium 二種、 テ ナイ、 トニハパンゲランゴー 來 ァ 居 モノ、 ノハ言フ迄モナク、 ク分布シ 前者ハ陰草デア 二丈高 其 膨レタ玉ガ出 **まんりゃう、** たうちくらん Elaeocarpus ノ低叢 = 四クナル テ居リ此 瓜 林ヲ 哇 ŋ

テ イ 時代ニ

爛熳ノ美觀ニ接シ得ナイ、

是レハ瓜哇高山ノ特徴デアル

コト ガアル、 シ ガアリ其ガ皆能ク發芽シタサウデアル 漿果ヲ哺食スル鳥ニハニ 又 KOORDERS 氏ガ鳩ノ胃ノ中カラ瓜哇山桃ノ種子ニ未ダ果肉ノ着イラ居ルノヲ二百以上モ 種 1 鳩 (Columba oxyura, $\widehat{7}$ 此等ガ如何ニ分布ヲ援ケテ居ルカガワカル、 C. porphyrea) トつぐみニ似 らタ黒 イ鳥 (Turdus fimidus) 我邦高山植物 取出シ タ

ヲ介シテ 要スルニ瓜 ノ要素ヨリハ却 カラ山 移來 哇 頂ノ「フロラ」 シタモノデアル、是レ 高山 テ南弗及ビ歐亞高山 植物 ハ下界カラ次第二推シ移ッタ ハ割合ニ未ダ カラノ移來要素ガ多 ハ前記キリマンヂャロデモ同様デアッテ、 貧弱デアリ役ッテ植! Æ ノデハナク大部分ハ高處 イ (6、9)、所ガ瓜哇ノ 生ハ高地程急ニ單調 アノ古イ山デモ Щ カラ高 ニナリ我邦 々ハ皆新 處 上 シ 高 高地 ク且ツ孤立的デ 層 Щ ラ植物 ノ様ニ百花 流 7 渡 y > 鳥 麓

分布モ氣候ノ變化以外此等ノ事實ニ依ルコトモ多イコト

ト思ハレル

目

- AKKERSDIJK, M. E., Caldera of the Tengger-Mountain. Fourth Pacific Sci. Congress, Java. Guide Book. 1929
- Docters v. Leeuwen, W. M., Tjibodas. do. Beumée, J. G. B., Djokja-Tengger-Soerabaja. do
- Tankoeban Prahoe. do
- 5 W., Volcanic Science in Past and Present. Science in the Netherlands East Indies. Amsterdam. 1929. p. 80
 - (3) (4)
- 36 Engler, A., Pflanzengeographie. Kultur der Gegenwart. 3 Teil, 4 Abt., 4 Bd. 1914.
- Errst, A., Die Besiedelung vulkanischen Bodens auf Java und Sumatra. Vegetationsbilder von Karsten und Schenck. VII.
- (8) von Faber, F. C., Die Kraterpflanzen Javas in physiologischökologischer Beziehung. 's Lands Plantentuin, Buitenzorg. 1927. Arbeiten aus dem Treub-Laboratorium
- 9

Tobler-Wolff, G. u. F. Tobler, Vegetationsbilder von Kilimandscharo. Heft 2 u. 3. Vegetationsbilder von Karsten und Schenck. XII

圖ノ説

明

大キイ葉ヲ立テ並ベテ居ル、着生及蔓生植物ハ殆ド無ク只さんせうもどき麢ノ Embelia coriacea Warr ガ生エカブサッテ居ル 純叢林ヲナシテ居ル、 ハ二米バカリノ灌木ヲナシ諸處亞硫酸ニヨリ枯死シタ叢モ殘ッテ居ルガ、火口ノ外緣ニハ廣イ叢林ヲナシ火口ヲ距ル二百米ノ處デ高サ六七米ノ單 バンプラフー 幹ニハ枝ノ落痕が目立ッテ見エル、下草ニハ矢張噴火口植物デアル Pleopeltis Féei v. A. v. R. 火山(二〇八四米)ノ Vaccinium varingiifolium Mrq. ノ叢林、此植物ハ有名ナ噴火口植物デ、火口 ガ蔓衍シひとつばニ似テ 面デ

テンガー山腹プロモ登山路ノ木麻黄林 (Casualina Junghuhniana Mro.) (佐竹氏寫真)

及其疎生シタ處ガ廣イ地域ニ渉ッテ居ル、幹ハ單調ニ森立シ枝條ハ細裂シ輪廓無クポカシテ居ルノデ何處ヤラ賴ナイ物寂シイ感ジヲ與ヘル、 此木麻黄ハ瓜哇山地ノ開放シタ處ニ生育シテ森林ノ先驅ヲナシ千五百乃至二千七百米ノ間ニ分布スル、テンガー山ハ新シイ火山デアルノデ此森林 ノ下草ハ主ニよもぎ (Artemisia vulgaris L.) デアル

ト右側(火口側)トデ發育ノ達ガアル、其間ニ敷詰メテ居ルノハ灌木生やまははこ(Anaphalis viscida DC.) ト禾本トデアル ○第三圖 テンガー外輪山ムンガル峠(二四○○米)ヨリ東方高地プナンジャアン (約二七○○米)ヲ望ム、樹木ハ皆木麻黄デアル、

尾根ノ左側

下ニ見ユルハ大火口原ノ砂海(約二二〇〇米)其奥ニハバトック山、 ○第四圖 テンガー山ノ外輪山高地プナンジャアン(約二七〇〇米)ヨリ南方ヲ望ム(佐竹氏寫眞) プロモ火山、ウィドダーレンヲ越エテ外輪山ノ對側ガ十「キロ」ノ彼方ニ横

二一線ヲ劃シ其奥ニハチマララワン山ト最後ニ秀麗ナ瓜哇ノ主峯スメルー(三六七六米)ガ見エル ノ 條溝ヲアラハシ一草ノ見ルベキモノガナイ、此林カラ 頂上迄二時間半乃至四時間、頂上ニハ噴火口ガアリ一九 一三年 ニ最近ノ噴火ガアッタ、 ○第五圖 スメルー山(三六七六米)ニ於ケル木麻黄林ノ上限(佐竹氏寫眞)、木麻黄林ハ其上限デ矮生ニナリ其上ハスか火山礫ノ裸地デ降雨浸蝕 手

前ノ叢林ハ Rhododendron, Vaccinium ナドデさるをがせガ着イテ居ル

七年デ火口附近 ノデ森林が頂上ノ平坦部ノ縁迄押寄セテ居ル、遠ク左方ニ見エルハサラック山(二二一○米)デ是モバンゲランゴート同様ノ年輩デアル、サラック 右麓此山陰ニ當ル處ニボイテンゾルフ植物園ガアルノデアル ゲデー(二九八一米)噴火口東側ヨリ西北西ニ姉妹峯パンゲランゴー(三〇六〇米)ヲ望ム(佐竹氏寫眞)、ゲデー最終ノ噴火ハ一八八 Vaccinium, Rhododendron, Gaultheria ナドガ點々移來シテ居ル、パンゲランゴーハ最終ノ噴火ハ一六六九年頃デアッタ

瓜哇ノ高山植物ト植物帯